



研修先での一枚（筆者は後列右から二番目）

## フィリピンでの学び

〈東南アジア文化・専門集中講座〉  
アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）  
明治大学商学部商学科2年  
相川真実子

フィリピンでの海外研修を終え、世間知らずだった私はこのプログラムに参加して本当に良かったと思っています。東南アジアの地域に初めて行った私には考えさせられることが多く、とても貴重な24日間を過ごしました。私は主にフィリピンの昔のこと、現在のことについて多く考えさせられました。

### フィリピンの昔のこと（植民地時代について）

フィリピンはスペイン・アメリカ・日本に植民地にされていた経験を持つ国です。そのことについて学ぶツアーも用意されていたので現地の方から多く学ぶことができました。日本人は戦争について考えるとき、主に広島や長崎に原爆を落とされた話、つまり自分達がされたことに目を向けがちな気がします。確かにそれも大切なことですが、日本が植民地にしていたことも含め日本がしたことについても、日本人としてもっと考えたり、知ろうとする姿勢を持つことはとても大切だと感じました。

### フィリピンの現在のこと（経済格差について）

フィリピンは街中を歩くだけで経済格差がすごいのだろうと一目で分かるような環境で、その中で考えさせられることはとても多かったです。フィリピンについて英語で学ぶ授業では社会構造についても学び、格差が激しいことにただただ驚いていました。教育を受けられない子供たちがいることも知り、自分がいかに恵まれた環境にいるか、幸せな環境で勉強できているかをとても実感しました。



調査で訪問した街の様子

現地のプログラムでは、寮に滞在して大学の語学学校に通い英語を勉強したり、英語でフィリピンの文化や社会等を学んだり、日本に興味を持ってきているサークルの学生と交流したり

と、とても充実した 24 日間でした。今回のような短期の留学は初めてではありませんでしたが、やはり海外に行くことによって自分自身を成長させることができると今回も感じました。初めて見る世界で視野を広げ、様々な考え方を持っている人に出会い、日本とは違う文化に触れ、日本を外から見て、国内にいるだけでは気付かないことにも気付くことができたと思います。

今回の研修を通じて、世間知らずだった私はまた 1 つ視野を広げ成長できました。今後の学生生活にぜひ役立てていきたいと思います。

---

**MEIJI UNIVERSITY**

[参考 URL: 2016 年度東南アジア文化・専門集中講座](#)